



都内企業の景況感

— 第119回企業動向調査結果 平成26年10月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は悪化。先行きは改善の見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の14.7から今回5.0へと9.7ポイント低下し、悪化している。先行きについて同DI*は11.9となり、改善の見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	14.7	⇒	5.0 <small>(前回予想 20.3)</small>	⇒	11.9
2. 売上高DI*は、前回の15.9から今回6.7へと9.2ポイント低下、経常利益DI*は、3.6から-3.3へ6.9ポイント低下した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇の見通し。	売上高 DI*	15.9	⇒	6.7 <small>(前回予想 13.9)</small>	⇒	17.3
	経常利益 DI*	3.6	⇒	-3.3 <small>(前回予想 10.2)</small>	⇒	8.1
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回9.7と5.9ポイント低下、仕入れ価格DIは38.9と0.2ポイント上昇した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇の見通し。	販売価格 DI	15.6	⇒	9.7	⇒	13.9
	仕入れ価格 DI	38.7	⇒	38.9	⇒	42.2
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の7.9から今回1.6へと6.3ポイント低下し、運転資金需要DI*は前回の5.2から今回10.8へと5.6ポイント上昇した。先行きは、両DI*ともに上昇の見通し。	製造業製品在庫 DI*	-8.2	⇒	-9.2	⇒	...
	設備資金需要 DI*	7.9	⇒	1.6	⇒	9.3
5. 金融機関借入難易感DIは、今回25.1と1.6ポイント低下、資金繰りDIは、今回4.3と9.8ポイント低下した。	運転資金需要 DI*	5.2	⇒	10.8	⇒	11.0
	金融機関借入難易感 DI	26.7	⇒	25.1	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア16.2%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回と同じ「原材料高・仕入価格高」が14.9%、3位は前回同率2位の「人材難」が12.8%だった。第4位は、前回5位の「労働力不足・求人難」で12.1%、第5位は、前回4位の「売上不振」で10.4%だった。第6位は、「人件費等経費の増加」5.5%、第7位は、「取引先からの値引き要請」4.8%、第8位は、「円相場変動」4.4%であった。	資金繰り DI	14.1	⇒	4.3	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	15.5	⇒	16.2		
	原材料高・仕入価格高	13.5	⇒	14.9		
	人材難	13.5	⇒	12.8		
	労働力不足・求人難	11.3	⇒	12.1		
	売上不振	11.4	⇒	10.4		
	人件費等経費の増加	6.3	⇒	5.5		
	取引先からの値引き要請	4.8	⇒	4.8		
	円相場変動	3.8	⇒	4.4		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回10.5、今回2.5、先行き11.7)で判断したものです。前回は「晴れ」、今回は「晴れ時々曇り」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。